

# だより

## 東名古屋病院

第99号

2025年4月発行

### 理念

私たちは、医の倫理を守り、患者さんの気持ちを尊重し、より質の高い医療を提供します。

### 基本方針

- ① 患者さんへの医療内容の説明と患者さんの同意を医療の基本とします。
- ② 地域に密着し、心の触れ合いを大切に医療を提供します。
- ③ 常に自己研鑽に励み、医療人としての専門的知識・技術の習得に努め、皆様に信頼される安全で最新の医療を提供します。
- ④ 健全な経営を維持して療養環境の整備に努め、安心して快適に療養できる病院を目指します。



表紙の花「ハナモモ」

## CONTENTS

**巻頭言**／ヘルスリテラシーを一緒に高めましょう!

**病気とのつきあい方**／アレルギー免疫療法の話

**地域医療連携室だより**／名東区多職種連携研修会を開催しました

第2回ウメモリん勉強会「支援者向け  
コミュニケーションツール勉強会」について

**情報提供**／名古屋市腹部超音波スクリーニング検査のすすめ

**トピックス**／「還暦を祝う会」を開催しました!



名東区多職種連携研修会  
を開催しました



アレルギー免疫療法  
の話

アレルギー免疫療法の話



独立行政法人 国立病院機構  
**東名古屋病院**  
 NATIONAL HOSPITAL ORGANIZATION  
 HIGASHI NAGOYA NATIONAL HOSPITAL

〒465-8620

名古屋市名東区梅森坂5-101

TEL 052-801-1151 FAX 052-801-1160

ホームページ <https://higashinagoya.hosp.go.jp/>





# ヘルスリテラシーを一緒に高めましょう!



内科系診療部長 林 悠太

最近、「〇〇リテラシー」という言葉を耳にする機会が増えているのではないのでしょうか? もともと「リテラシー」は読み書きの能力を指していましたが、現在では特定の分野に関する知識や理解、そしてそれを適切に活用する能力を意味します。例えば、ITリテラシーや金融リテラシーなどがあり、ビジネスの世界だけでなく、私たちの日常生活の場面にも浸透してきています。

医療の分野でも、「ヘルスリテラシー」という言葉が使われるようになってきました。これは、「健康や医療に関する情報を「適切に入手」し、「正しく理解」し、「信頼できるか評価」し、「意思決定する」4つの能力を表しています。この力を高めることで、自分や家族にとって適切な医療や介護を受けられるようになります。その結果、病気の予防や健康寿命を延ばす、医療費の節約などにもつながることが期待できます。

しかし、この情報があふれている社会では適切な情報を手に入れるのが非常に難しくなっています。営利目的で不安をあおるような情報がネット上には多くみられます。それでは信頼できる情報を手にいれるにはどうしたらいいのでしょうか? 例えば、学会や公的医療機関が提供するガイドラインは、専門家が多くの視点を取り入れて作成しているため、信頼性が高い情報といえます。しかし、こうした情報には専門的な内容も多く、簡単にアクセスできない場合もあるため、医療従事者と相談しながら活用することが大切です。

先日、バスで「AIが発達すれば、将来お医者さんは必要なくなるのでは?」という会話が聞こえてきました(盗み聞きではありませんよ)。確かにAIの進歩には目を見張るものがあり、そのようなことがないとは言えません。しかし、医師の役割は診断や治療法を伝えることだけではありません。患者さんの不安や悩みに寄り添い、より適切なサポートを提供することも大切な役割です。そのため、医師が完全に不要になることはない信じて日々精進したいと思います。

ヘルスリテラシーを高めるには、信頼できる情報を得るだけでなく、医療従事者との良好な双方向のコミュニケーションが重要です。医療従事者は情報をより分かりやすく説明し、患者さんがその情報を理解、評価して、意思決定できるようにサポートする必要があります。患者さんも医療従事者も私たち一人ひとりがヘルスリテラシーを意識することで、自分や家族の健康を守る力を養えるのではないのでしょうか。

## あとがき

ヘルスリテラシーを表現するイラストをAIに作ってもらいました(よくわからない腕章をつけているなどイメージ通りではありませんが、AIなので我慢します)。





## スギ花粉症、通年性アレルギー性鼻炎でお悩みの皆様へ アレルギー免疫療法の話

皮膚科医師 加藤 愛

今や日本人のおよそ3人に1人がスギ花粉症(以下『花粉症』と表記)をわずらっていると推測されます。これほど多くの方が春先の約3ヶ月間をくしゃみ・鼻水・鼻づまり・眼のかゆみと闘いながら過ごさなければならない事実は、日本のあらゆる産業の生産効率に影響を与えているに違いありません。また、受験シーズンと重なることから、花粉症のせいで力を発揮できず文字どおり涙を飲んだ受験生もいるのではないのでしょうか。

花粉症の治療は抗ヒスタミン薬の内服・点眼、ステロイド点鼻薬が一般的ですが、これらはあくまで対症療法です。本稿では、花粉症を完治させられるかもしれない『アレルギー免疫療法』を紹介します。

アレルギー免疫療法は、アレルギー(アレルギーの原因物質)を少量ずつ体に入れることで、体をアレルギーに慣らし、アレルギー症状を和らげる治療法です。花粉症に対するアレルギー免疫療法は、スギ花粉成分を含む錠剤を舌の下の粘膜からゆっくり吸収させる『舌下免疫療法』が一般的です。舌下錠を毎日1回、3~5年間使用することで、およそ2割の人で花粉症の症状が消失し、6割の人で症状が軽快します。早い人では舌下免疫療法を開始した翌シーズンから効果を実感するようになります。残念ながら2割の人には効果がみられません。



アレルギーを体に入れるわけですから、稀ではあるものの重いアレルギー症状(アナフィラキシーショック)を起こすことがあります。また、スギ花粉の飛散時期は免疫が過敏になり、アレルギー症状がより強く出やすくなります。このため、初回投与はスギ花粉の飛散時期を避け、必ず病院の中で行います。

2025年3月現在、花粉症の舌下免疫療法で使用する薬剤『シダキュア®錠』は、生産が必要に追いつかず、新規患者さんへの投与を開始できない状態です。2025年秋頃には安定供給できる見通しとのことですが、時期は未定です。本稿を読んで舌下免疫療法を受けたいと思われた方には申しわけありませんが、今しばらくお待ちいただかなければなりません。

スギ花粉の時期だけでなく、年中鼻炎症状がある方は、ダニ・ハウスダストに対するアレルギーの可能性もあります。ダニアレルギーも舌下免疫療法が可能で、こちらは現在のところ薬剤は安定供給されており、時期を選ばずいつでも開始可能です。ダニアレルギーは鼻炎だけでなく気管支喘息を合併しやすく、早期に舌下免疫療法を行うことで気管支喘息の発症を抑えられることが分かっています。症状に覚えのある方は、ぜひ医師にご相談ください。

当院での舌下免疫療法の窓口は皮膚科になります。ご希望の方は皮膚科受診をお願いします。

# 地域医療連携室だより

## 名東区多職種連携研修会を開催しました

去る1月15日(水)「多職種で学ぶ慢性呼吸不全」と題しまして、名東区多職種連携研修会を開催しました。当日は30名近くの方が参加されました。

齋場郁子院長より開会の挨拶があり、その後、呼吸器内科林悠太医師、看護師木村祐一氏、理学療法士千田景子氏が、それぞれの専門職の立場から慢性呼吸不全患者さんへの治療、ケア、リハビリテーション等について、わかりやすく講演頂きました。参加者の皆様は熱心に講演を聞いてくださり、第二部のグループワークでは活発な意見交換がなされました。

閉会にあたり、名東区医師会会長の竹内東洋先生よりお話しいただき、和やかに閉会となりました。当日ご参加いただきました皆様ありがとうございました。次回のテーマや企画について、ご意見やご要望等がありましたら、ぜひ、地域医療連携室までお知らせください。

名東区多職種連携研修会

### 多職種で学ぶ慢性呼吸不全

主催 独立行政法人国立病院機構東名古屋病院  
共催 名古屋市名東区医師会  
後援 名東区役所

開催日時 2025年1月15日(水) 18:00~20:00  
受付開始 17:30~  
開催場所 名東区役所講堂 名東区上社二丁目50番地  
※会場へのお車での来場はご遠慮ください。

【プログラム】

開会挨拶  
18:00~ 東名古屋病院 院長 齋場 郁子 氏

第一部 講演  
18:05~ 演題1 : 慢性呼吸不全の基礎知識  
~多職種連携は患者のQOLを向上させる!?~  
講演者: 東名古屋病院 呼吸器内科医師 林 悠太 氏  
演題2 : 慢性呼吸不全患者の日常生活指導と援助  
講演者: 東名古屋病院 看護師 木村 祐一 氏  
演題3 : 慢性呼吸不全と運動療法  
講演者: 東名古屋病院 理学療法士 千田 景子 氏

第二部 グループワーク  
18:50~ テーマ : 長期酸素療法(在宅酸素療法)が必要な患者へのアプローチ  
閉会挨拶  
19:55 名東区医師会会長 竹内 東洋 氏





# 第2回ウメモリん勉強会 「支援者向けコミュニケーションツール勉強会」 について

医療社会事業専門職 増田 美穂子

去る1月23日(木)、当院にて「第2回ウメモリん勉強会」を開催いたしました。今回は「支援者向けコミュニケーションツール勉強会」と題しまして、主に神経難病患者さんを対象としたコミュニケーションツール(意思伝達装置や、入力スイッチ等)について、支援者向け勉強会を開催いたしました。地域で神経難病患者さん支援に携わっている保健師、ケアマネジャー、訪問看護ステーションの看護師、リハビリスタッフなど、合計60名以上のご参加いただきました。ご参加いただきました支援者の皆様、ありがとうございました。

勉強会の内容は、昨年度初めて開催しました「支援者向けコミュニケーションツール勉強会」をブラッシュアップし、前半はzoom配信と参集でのハイブリッド開催、後半は当院リハビリテーション室で対面にて行う2部構成としました。

第1部では、コミュニケーションツールの概要について当院第一脳神経内科医長の橋本里奈医師よりお話頂き、コミュニケーションツールの導入事例紹介を長良医療センター作業療法士の加藤佳子氏、当院作業療法士の平林真里氏より発表頂きました。

第2部では、三重病院作業療法士の森田泰徳氏に企画、コーディネイト頂き、実際にコミュニケーションツールに触れていただく体験型の勉強会を行いました。

終了後のアンケートでは、「事例紹介がありイメージしやすく、とても勉強になりました。」「最新の機器を知ることができて良かった。」等、大変ご好評をいただきました。

次回の「ウメモリん勉強会」も、鋭意企画中です。患者さんご家族のQOL向上に資するべく当院の専門的な医療やリハビリテーションを発信し、支援者の皆様と共に学び合っていくことができるような勉強会にしていきたいと考えています。

**支援者向け 東名古屋ウメモリん勉強会 第2回 「コミュニケーションツール勉強会」**

2025年1月23日(木)

時間: 16:00~17:20 (オンライン配信は1部のみ:16:00~16:40)  
場所: 東名古屋病院 リハビリテーション室  
対象: 医療職、福祉職など 支援者向け  
費用: 無料  
開催方法: ハイブリッド開催

**プログラム**

**1部 意思伝達装置の座学**  
16:00~16:40 \*オンライン・現地 どちらも参加可能  
I. コミュニケーションツールの概略  
東名古屋病院 第一神経内科医長 橋本里奈先生  
II. 導入事例紹介  
長良医療センター 作業療法士 加藤佳子先生  
東名古屋病院 作業療法士 平林真里先生

**2部 意思伝達装置ワークショップ**  
16:45~17:15 \*現地参加者のみ  
プレゼンター  
三重病院 作業療法士 森田泰徳先生

数種類のハイテク・ローテク機器に実際に触れて体験ができます！  
各種機器の操作説明や導入に関する制度説明等、その場で質問受付しますので、日々のご不安解消できるかもしれません。



# 名古屋市腹部超音波スクリーニング検査のすすめ

臨床検査科 堀 貴美子



2025年2月から、東名古屋病院で、名古屋市腹部超音波スクリーニング検査が始まったことを、みなさまご存じでしょうか?今回、検査科からは、名古屋市腹部超音波スクリーニング検査についてご紹介したいと思います。

## 名古屋市腹部超音波スクリーニング検査とは

名古屋市腹部超音波スクリーニング検査は、名古屋市の事業として行われるものであり、成人保健対策の一環として、腹部エコーによる腹部超音波検を実施することで、腹部の各種疾患を早期発見・治療することによる健康維持や健康意識の向上を図る目的としています。

**対象者** ● 名古屋市内にお住いの**50歳以上の方**  
(2025年3月31日時点の年齢)

**検査内容** ● 問診と腹部エコーによる検査を行います。

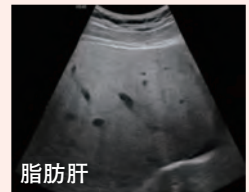
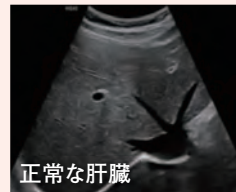
**検査部位** ● 肝臓・胆のう・胆管・膵臓・脾臓・腎臓など

**検査回数** ● 1年に1回

**検査料金** ● **500円**(免除制度あり)

## 腹部エコー検査について

- 腹部超音波(エコー)検査は身体への負担が少なく、1回の検査で複数の臓器をさまざまな角度から確認することができます。
- 体の表面に、超音波プローブ(超音波の送受信をする器械)を当て、人間の耳では聞こえない高い周波数の音波(超音波)を腹部臓器に当てます。その体内の臓器から、はね返ってくる超音波をリアルタイムで画像として映し出す検査です。
- 腹部エコー検査は、放射線の心配もなく、痛みもありません。
- きれいな画像を得るため、装置を当てる部分に検査用のゼリーを塗ります。
- 基本的に仰向けに寝て行いますが、横向きや座った状態で行う場合もあります。
- 検査中は、息を吸ったり吐いたりした状態で、息止めをお願いすることがあります。
- 検査当日は、絶飲食をお願いします。(軽くお茶やお水はOKです)
- 腹部エコー検査では、肝臓・胆のう・膵臓・脾臓・腎臓などを観察します。
- 腹部エコー検査は、対象臓器のがんや脂肪肝、胆石、胆のうポリープ、腎臓結石などの疾患の発見に有効な検査です。



**Q1** 検査中、息を吸ったり吐いたりするのはどうしてですか?

**A** 臓器を見やすい位置に動かしたり、肺の影響や消化管ガスの影響を少なくするためです。

**Q2** 検査当日、食べたり飲んだりしてはいけないのはどうしてですか?

**A** 食事により胆のうが収縮してしまい、胆のう内部が観察できなくなるのと、消化管ガスが発生し膵臓などの観察が難しくなるためです。

## 名古屋市腹部超音波スクリーニング検査予約方法

事前予約が必要になります。実施日は、毎週火曜日11:00~11:30(祝日、年末年始を除く)です。予約受付は、☎052-801-1151(代) 経営企画室長あてにご確認をお願いします。ご不明な点はお問い合わせください。

今回、検査科からは名古屋市腹部超音波スクリーニング検査についてご紹介致しました。ぜひ一度検査を受けてみませんか?



当院の超音波装置



## 「還暦を祝う会」を開催しました!

令和7年2月22日(土)に北1階病棟(重症心身障害児者病棟)に入院中のM様の「還暦を祝う会」を開催しました。

ご家族様にもご協力いただきM様のこれまでの人生におけるエピソード等をお聞きし当日に上映するスライドショーを作成し、受持看護師はM様の好きな野口五郎さんにちなんだカレンダーを手作りし、療育指導室では保育士さんを中心にMさんが入院されてからの様子をまとめる等、準備を重ねました。

当日の午前中は岐阜市にある「NPO法人ひだまり創」さんにご協力いただき、「介護エステ」で人生初のフェイシャルエステやメイクをしていただき、普段から若々しいMさんがさらに素敵に変身しました!

会が始まる直前には、ご家族がご準備してくださった赤いちゃんちゃんこと頭巾を身に着け、少し緊張しつつも嬉しそうな笑顔をされていました。



いよいよ会が始まり、妹さんがご家族の写真を元にしたM様の生い立ちの写真とその当時のエピソードを紹介していただきました。名古屋の施設に空きが無く入院する事が出来ず、静岡県にある国立療養所漆山荘(現:静岡てんかん神経医療センター)に入院した事、怖い祖父もM様には優しくだった事、夏冬に10日間程M様を迎えに行き一緒に家で過ごした事、家のお風呂に入るのが好きだった事、自分達が豊んだ洗濯物をM様が自分も手伝うつもりだったのかもしれませんがグチャグチャにしてしまった事、病院に帰る事がわかると体調を崩すM様を気遣い、家族でバレないように秘密にしていた事…私達が知らないエピソードを沢山お聞きする事が出来ました。最後に「これからも兄(M様)のガハハ笑いを見続けていきたいです」とお話いただきました。

M様は人と関わる事が大好きな方で、会話をしていると「ガハハ」と満面の笑みを見せてくださり私達も自然と笑顔になるのですが、その笑顔の裏には「もっと家族と過ごしたい」という気持ちや、家族や職員からの大きな愛情があったのだな、と感じました。

私達職員は患者様の現在の状態や環境を重視しがちですが、これまでの患者様の生きてきた歴史、ご家族との関わりの中に「患者様にどのような支援が必要なのか」、「私達は何をすべきか」という答えのヒントがある、と改めて感じました。

M様とご家族様のファミリーヒストリーに感動し、少ししんみりとしたのですが、受持看護師さん手作りの野口五郎カレンダーの写真セレクトとコメントが絶妙で笑いも生まれ、とてもアットホームで温かい「還暦を祝う会」となりました。



# 外来案内

診療受付時間／午前8時30分～午前11時まで(緊急の場合はこの限りではありません)

診療開始時間／午前9時～

休診日／土曜日、日曜日、祝祭日、年末年始(12月29日～1月3日)

初診時の特別料金／他の医療機関等からの紹介ではなく、直接当院に来院された患者さまは、初診にかかる費用として、2,200円(税込)をいただいております。ご了承ください。  
ただし、緊急その他やむを得ない事情により他の医療機関からの紹介によらず来院された場合にあってはこの限りではありません。

## 外来診察担当医表(令和7年4月1日現在)

診療科	月	火	水	木	金
呼吸器内科	初診 角田 陽平	垂水 修	林 悠太	中川 拓	佐藤 美佳
	垂水 修	佐藤 美佳	角田 陽平		林 悠太
	中川 拓		中川 拓/小川 賢二 (第1・3週) (第2・4・5週)	小川 賢二	
循環器内科	服部 智貴		伊藤 亮太		
健康診断					武藤亜紀子
脳神経内科	初診 片山 泰司 (第1・3・5週) 村尾 厚徳 (第2・4週)	佐藤 実咲 (第1・3・5週) 奥田 聡 (第2・4週)	橋本 里奈	横川 ゆき	小森 祥太 (第1・3・5週) 稲垣 祐美 (第2・4週)
	饗場 郁子	片山 泰司	稲垣 祐美	小森 祥太	村尾 厚徳
	横川 ゆき	奥田 聡 (第1・3・5週(再診))	佐藤 実咲	橋本 里奈	
			饗場 郁子	奥田 聡	
消化器内科	横井 美咲	高橋 宏尚	高橋 宏尚/小林 慶子 (交替制)	小林 慶子	高橋 宏尚/小林 慶子 (交替制)
呼吸器外科		山田 勝雄			
外科・消化器外科	渡邊 正範 (9:00～10:30)			永田 博 (第2・4週)	渡邊 正範
乳腺外科		遠藤登喜子			遠藤登喜子/森田 孝子
乳腺・内分泌外科			今井 常夫 (第1・3週)		
整形外科	船橋 洋人	堀江裕美子	生田 健/武藤 聡志/浅井 信之 (交替制)	佐藤 駿文	堀江裕美子
リウマチ科				佐藤 駿文	
脳神経外科					竹内 裕喜
泌尿器科	岡村 菊夫		青田 泰博		岡村 菊夫 (午前通常診療・午後女性外来※2)
精神科					亀位 翼
膠原病内科	鈴木 道太 (9:30～)				
内分泌内科					深見亜也子
小児科(予約制)	濱口 典子	濱口 典子	濱口 典子	濱口 典子	濱口 典子
皮膚科	加藤 愛	加藤 愛	加藤 愛		加藤 愛
耳鼻いんこう科※1	伊藤 陽子	伊藤 陽子	伊藤 陽子	伊藤 陽子	

※1:補聴器外来(予約制)／第1・3火曜、木曜 14:00～15:30

※2:女性泌尿器科外来／金曜(受付)12:00～13:30(診察)13:30～15:30

●時間外・休日の救急診療については、お電話にてご相談ください。(052-801-1151)

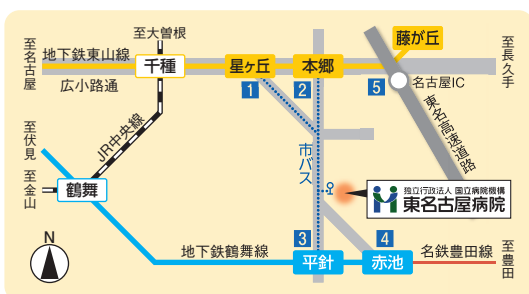
●セカンドオピニオン外来(予約制)を行っていますのでご利用ください。

●火・(水)・木曜午後に一般健診を行っています。(健診受付は14:00～15:00です。)

東名古屋病院  
病院紹介動画▶



## 病院へのアクセス



### 1 地下鉄東山線 星ヶ丘駅からお越しの場合

- ・市バス③番のりば 東名古屋病院行きまたは梅森荘行き約15～25分…東名古屋病院にて下車
- ・星ヶ丘よりタクシーにて約15分

### 2 地下鉄東山線 本郷駅からお越しの場合

- ・市バス①番のりば 地下鉄平針駅行き20～30分…東名古屋病院にて下車

### 3 地下鉄鶴舞線 平針駅からお越しの場合

- ・市バス①番のりば 本郷行き約10分…東名古屋病院にて下車
- ・タクシーにて約8分

### 4 名鉄豊田線・地下鉄鶴舞線 赤池駅からお越しの場合

- ・タクシーにて約8分

### 5 東名高速道路 名古屋ICより車で約20分